

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表日: 2022年 3月15日

事業所名

わくわく新白河

保護者等数(児童数) 23名 回収数 18名 割合 78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3	0	意見等なし。	現状維持できるようにしていく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	0	意見等なし。	話し合いが出来る時間を設ける。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	11	0	スロープ等の配置がなく、段差が見られる。	利用する児童に合わせて配慮していく。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	2	1	意見等なし。	継続してより良い計画を立てていく。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	2	0	意見等なし。	子どもたちに合った様々な活動計画を立てていく。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	7	子ども同士の交流が少なく	コロナ禍が落ち着いて後対応する。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2	1	意見等なし。	こちらからも積極的にアプローチ出来るようにする。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	18	0	0	意見等なし。	継続して共通理解を図れるよう努めていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	1	意見等なし。	児童の状況に合わせて対応をしていく。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	6	2	意見等なし。	月に一回、座談会を開いて情報共有等を図っている。(コロナ禍のため現在は実
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	2	意見等なし。	職員会議を開き問題点、改善方法を議論している。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	2	1	考えた内容と異なることがある。	情報共有をさらにする。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2	0	活動の目標も含め、広報などで発信している。	学期末に広報を作成し活動の様子などを発信している。また日々の連絡帳でも発信している。
14	個人情報に十分注意しているか	15	2	1	連絡帳の送信先の誤送がある。	送信前に再度確認をし誤送をなくしていく。	
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	9	0	意見等なし。	当施設の対策を連絡帳にて周知している。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	3	0	意見等なし。	月に一回、避難訓練を行い反省点や課題を出し合っている。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0	意見等なし。	充実して過ごせるよう活動プログラムは意見を出し合って作成している。
	18	事業所の支援に満足しているか	16	2	0	意見等なし。	子どもたち保護者が満足できるように話し合い意見を出し合い支援をしている。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。